

福島原発 放射能

水・空気・食物・土壌汚染の不安解消へ すべての浄水場と市町村に測定器設置を

液状化被害の住宅への支援(最大100万円) 私立幼稚園耐震化補助などが予算化



旭市長、市議会議長から要望を聞く共産党県議団(左から、岡田、丸山、小松、加藤の各県議)

日本共産党県議団は、旭市、香取市、浦安市などの被災地を訪問し、市長、J A、漁業関係者、被災住民から被害状況と要望を伺い、国と県に支援を求めてきました。

今回の補正予算には、液状化被害の住宅への支援、私立幼稚園耐震化促進補助、

農業用施設や海苔養殖施設復旧補助、災害援護資金貸付など、県独自の支援策が盛り込まれています。一歩前進させることができました。

農家の米づくりを全力で支えよ

水田の用排水路が壊れ、田植えができない稲作農家は深刻です。今年の収入が途絶えるだけでなく、毎年の土地改良費や、これまで購入した資材代金、用排水路の復旧費の地元負担金の支払いが迫られます。日本共産党は「農業をあきらめなくてすむよう、行政の大きな支援を」と要求しました。

県の埋立地が液状化 その責任をたどす

東京湾沿いの県の埋立地の液状化被害は甚大です。共産党は、具体的な対策もとらないまま「法的な瑕疵はない」と言い放つ県の姿勢を厳しく批判しました。

県は、測定箇所を一か所増やし、市原市と

ようやく県が 大気中の放射線測定器購入

現在、浄水場では放射能測定ができなため、委託検査にだしています。しかし結果がでた時は、その水はすでに家庭に供給されています。この間、県水道局や北千葉広域水道企業団で測定器を購入していますが、共産党は、すべての浄水場に測定器を設置し、危険な水は県民に供給しないよう求めました。

しています。

共産党は「原発危機の収束と救援、復旧、復興に向けた緊急対策を求める意見書」を提出しましたが、自民、民主、公明、市社無、みんなの党が反対し、否決されました。意見書案と提案説明は、ホームページに掲載しています。

県の責任で 安全な飲料水の確保を

現在、浄水場では放射能測定ができな

旭市で測定するとしていますが、茨城県では、各市町村へ測定器を配布します。県内でも独自に測定をはじめた自治体もあります。共産党は、県内の全市町村に測定器を配布するよう要求。ようやく県は、一定数を揃え、自治体に貸出しする予定です。



共産党県議団は、5月16日、県に対して放射能汚染の緊急対策を申し入れました。



旭市の津波被害

などを求めました。

福島原発事故の放射能汚染は、県民に大きな不安をもたらし、出荷制限や風評被害が農・漁業を直撃しています。東電と政府の責任は重大であり、一日も早い収束へ総力をあげるべきです。5月臨時県議会で日本共産党は、県に対して、測定体制の抜本的強化

被災されたみなさんに
心よりお見舞い申し上げます

日本共産党

県民に開かれた、良識ある 県議会めざしてがんばります

日本共産党

議会改革を議長に申し入れました

日本共産党千葉県議団は5月20日、新たな任期が始まるにあたり、さらに開かれた議会とするための議会改革を伊藤和男議長、吉本充議会運営委員長に申し入れました。

これまでも共産党は、政務調査費の領収書添付義務づけや費用弁償（日当）の大幅削減、常任委員会の会議録作成などを実現してきました。今回の申し入れでは、◇交渉会派（*）の人数基準を所属議員3人以上に戻すこと、◇所属議員3人以上の会派には毎議会代表質問をおこなわせること、◇請願審査にあたり提出者が希望した場合趣旨説明を認めることなどを求めました。



応対した伊藤議長は、「大事な問題なので、よく考えた」と述べました。
*現在の交渉会派は5名以上。議会運営委員会の委員をだし、本会議で毎回代表質問ができます。

買収で逮捕者を出した議員の辞職勧告決議 自民、民主、公明、みんなの党が上程拒否

先の千葉県議選で、みんなの党の川井友則（松戸市）、無所属の西尾憲一（船橋市）各県議の陣営が買収による逮捕者を出した問題で、臨時議会閉会日（5/20）、日本共産党県議団は両県議の議員辞職勧告決議案を提出しました。

しかし、自民、民主、公明などが、臨時議会での審議要件である「急施を要する」事に該当しないとして、本会議への上程を拒否しました。

買収選挙は、主権者である県民の政治不信を助長する最悪の犯罪であり、県議会の良識ある判断が求められているなか、同決議案は文字通り喫緊の案件です。賛否はともかく「急施を要しない」などとする判断は、県民の常識とかけ離れたものです。

4
新人の
いい

福祉と防災の街づくり⁴に全力 日本共産党県議団

日本共産党は、みなさんのご支援で引き続き4人の県議団となりました。震災の救援・復興、公約実現、暮らしを守り、県民の願いを実現するために全力をあげます。

小松 実 (千葉市花見川区)

党県議団長
総務防災常任委員



「JAかとり」から震災の被害状況を聞く小松県議

加藤 英雄 (柏市)

党県議副団長
県土整備常任委員



臨時県議会で補正予算の質疑にたつ加藤県議

丸山 慎一 (船橋市)

健康福祉常任委員



臨時県議会で原発問題意見書案の提案理由を述べる丸山県議

岡田 幸子 (市川市)

文教常任委員



臨時県議会で補正予算案について討論する岡田県議